

わが家のアイドル

武ガ浜にお住まいの
廣瀬 剛也さん・美穂さんの

ほの かの
長女 穂 香 ちゃん(4歳11か月)
かお り
次女 香 里 ちゃん(2歳10か月)

わ・わたし 何だか…緊張しちゃうなあ、お姉ちゃん。
大丈夫・大丈夫♪ 肩の力を抜いて「ハイ・ポーズ！」
さっすがお姉ちゃん！ 確か将来の夢はAKBだったよ
ね？ きっと叶いそうだね！



下田市はあいさつ運動実践中 あいさつで、やさしいきもち つたわるよ

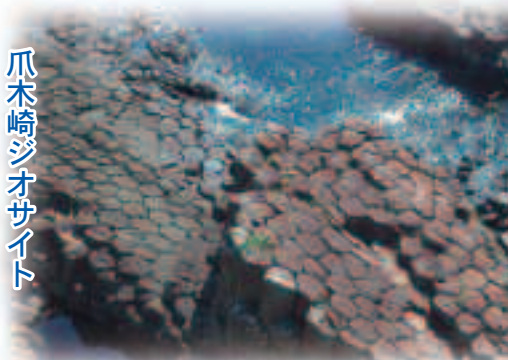


みなさんのお宅のアイドルの写真を募集しております。市役所総務課へどしどしお寄せください。

下田の大地を巡る旅

「伊豆半島ジオパーク」

Vol.9



爪木崎ジオサイト

「俵磯」

灯台へ向かう遊歩道の右手の崖下には、規則正しく並ぶ、たくさんの岩柱を眺めることができます。その断面は、まるで俵が積み上げられている姿に見えることから「俵磯」と呼ばれており、ダイナミックで不可思議な、自然の営みを感じさせてくれます（県指定天然記念物）。

「俵磯」の岩柱は、どのようにしてできたものなのか？その答えは「海底火山」にあります。

海底火山の地下から湧き上がったマグマは、ときに噴火を起こさず、地下にたまった地層の隙間に入り込んで、そのまま固まってしまふことがあります。マグマは冷え固まると縮むという性質があり、このままマグマがゆっくり冷やされ、すべての方向に縮む力が働くと、結果として規則正しい六角形の亀裂「柱状節理」を生み出します。こうした現象は、実は身近

なところでも発見できます。

水を抜いた田んぼでは、土から水分が蒸発し、表面が収縮することで、亀の甲のような亀裂ができることがあります。これは柱状節理と同じ原理です。田んぼの亀裂は、土が乾くことにより生じるものであるため、表面にしかできませんが、マグマの場合は、冷やされることで、全体が収縮されるため、亀裂が伸び、柱のような形になります。

こうした柱状節理は、伊豆の他の地域でも見ることができそうですが、大きくサイズの揃った柱が立ち並ぶ爪木崎の柱状節理は、非常に特徴的な場所といえます。

自然が作り出した造形美である「柱状節理」、水仙まつりにお越しの際に、併せてご覧になってはいかがでしょうか。

アクセス

下田駅より爪木崎方面バス
爪木崎バス下車徒歩約5分

問合せ先
観光交流課観光戦略係

☎ 23913



「広報しもだ」は再生紙を使用しています



伊豆縦貫自動車道を早期完成しよう!!

「伊豆縦貫自動車道ロゴマーク」を利用して、伊豆縦貫自動車道の整備促進と活性化を県内外にPRしましょう!! ご利用方法については、以下の市ホームページをご覧ください。

■ 下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>